



岩花 寛之 議員

し尿処理施設の整備計画は

坪根町長 上毛案を作り比較検討する



し尿処理施設「周防苑」

○先般行われた吉富町外1町の協議会に提出された選択肢は、佐矢野住民課長 下水道投入方式が3件、河川放流が2件、合計5件の比較検討資料が明示された。

○各処理方法のメリット・デメリットは、

佐矢野課長 下水道にそのまま投入する案は、希釈水が大量に必要なため考えにくい。不純物をろ過した上で下水道に投入する方法は、整備費が20億、ランニングコストは年間6500万となり、現在と同程度に抑えられる。ただし吉富町の下水道事業計画の変更手続き、地元や漁協の同意が必要となる上、負担割合の協議が必要となる。汚泥再生センターを整備し河川放流する案は、建設費が25億円弱と高額になるが、新たな同意や

手続が必要ないというメリットがある。

○その他の選択肢はないか。佐矢野課長 豊前市の整備計画に加わることがあげられるが、ランニングコストが未定であるため、豊前市からの情報提供を待ち組合議会で比較検討したい。

○し尿処理施設の再整備に関しては施設整備が約20億、ランニングコストを考えれば20年間で30億を超える一大事業である。行政、議会共々課題を共有し、考える必要があると思うが。

坪根町長 大きな費用が掛かる事業であり、吉富案・豊前案が出てくるが、当町でも調査を行い上毛案を作成して比較したい。執行部、議会が一緒になって検討したい。

人口ビジョンと定住促進

○社会増減と自然増減を勘案すれば、過去3年マイナスであり、平成25年に8000人いた人口が7772人と300人ほど減っている。人口1万人を目標に掲げているがこの状況に対する町長の所感。

町長 旧新吉、旧大平において棲み分けを行い、今後、目標をしっかりと示していきたい。

○空き家対策の進捗は。佐矢野住民課長 現在データベ

スの作成を行っており、来年度地図情報に加え、更に見やすいデータを作成する。

○空き家バンクの物件情報に具体的な金額などが明示されていないがヒヤリングができていないのか。

福田企画情報課長 町としては売主と買主のマッチングを行い、実際の売買や賃貸に関しては不動産会社を通じて取引してもらいたい。

○空き家を有効活用する為、協会の早期立ち上げが必要では。佐矢野課長 来年度、空き家対策協議会をどうするか、人選を含めて決めていきたいと考えている。町全体として取り組んでいきたい。

○コモンパーク彩葉が77区画中58区画売れている。今後の分譲地確保に対しての方向性は。福田課長 現時点で具体的な場所やエリアは決定していないが、若い世代が購入したくなるような用地を確保したい。

○土地の販売までには数年かかる。早期に動くべきでは。町長 新規分譲地も今後数年間で考えていかなければならない。同時に優良企業の誘致も行いたい。

指定管理者の報告内容

○町内施設の指定管理の状況は。岡崎総務課長 8施設6つの指定管理契約を行っている。各施設の設置条例に沿った目的を指定管理要綱に掲載している。

○運営管理に際してどのような内容の報告を受けているか。岡崎課長 道の駅並びに各施設共、毎月の経理状況と来場者、年に1回の全体報告と年2回の中間報告を受けている。

○昨年対比や事業計画などが一覽でわかる資料があれば判断材料になるのだが。岡崎課長 細やかな部分の報告に関しては指定管理期間の途中から変更するのは難しいため更新の際に協議したい。



大平案

考えている。町は当該エリアが目的に沿った活用ができる判断し、一体的に売却を考えている。

○民間業者は倒産、営業・生産拠点を他に移す場合がある。売却予定地が、売却後もずっと町の総合計画に定められた交流、レクリエーションゾーンとして活用できるのか。岡崎総務課長 企業が延々と続くかわからない。論点でいくと企業誘致は根本から考え直さないとけない。

人口減少対策と子育て支援は

○人口を減らさない対策として保育料、学童保育料、給食費、子ども医療費、家賃などの負担軽減や奨学金制度、就学援助制度、学童保育制度の充実が求められる。町の目指す人口1万人実現のための重点施策は。垂水(英)子ども未来課長 放課後児童クラブなどの利用料の負担軽減、子育てサポート事業の開始、また子育て支援センターは毎年工夫改善をしている。公立保育所の一時保育拡充など、他課とのさらなる連携をし、0歳児から18歳まで子育て環境の一層の充実を図りたい。

茂呂 孝志 議員

大池公園で住民説明会を開く理由は

坪根町長 多くの皆さんの理解を得るため



大池公園

○大池公園整備事業は収支のバランスが悪く、費用対効果もない。維持管理費などで採算性が見込めない場合や直接住民の同意が得られない場合でも事業の中止は考えないのか。永野開発交流推進課長 第2、第3段階については住民皆さんの理解を得なければ実施しない。しかし、全ての意見、同意が得られるという事はなかなか難しいので最後は議員の同意で決める事になると考える。整備を行うと決定されれば住民の皆さんがやってよかったと思えるような内容とするため、第2段階以降の整備については充分に検討したい。

○住民説明会を開く理由は。坪根町長 より多くの皆さんの理解を得るために開く。

○西側の山を削るとその先が見えるので景観は壊されないと答弁している。町長は、西側の山の工事内容についてどんな説明を受けているのか。永野課長 西側については、どういう事になるかまだ決定してない。正式に出した段階で、様々な意見をいただきたいと思う。

○議会全員協議会の席で西側の山を頂上付近から削る構想図を示し説明を行っているではないか。町長 あの時点では、はっきりとした場所の確保や台数を示すことができなかった。まず連結した方がよいといった考えで、あの構想図ができた。まだ、流動的なものとして理解いただきたい。

旧ビール館の利活用は

○議会全員協議会で旧ビール館、野外ステージなどを宿泊施設やレストランなどを経営している会社に売却するとの説明があった。町は利活用についてどんな検討したのか。また、建物の改修工事に必要な費用はいくらかかると見積もっていたのか。福田企画情報課長 昨年7月に職



旧ビール館周辺

員から利活用について提案を募集し、町の直営、民間への貸付・売却という3つの方法で検討を行い、民間への売却が一番良い方法であると判断した。旧ビール館の改修費については検討していない。

○なぜ、野外ステージまで売却するのか。福田課長 コンサートやイベントなどに利用してもらえればと